

## けんぽ共同健診 Q&A

**Q 1. 基本検査の「特定健診コース」は無料に対し、「一般健診A 1コース」は自己負担がかかりますが、どうしてですか。**

A 1. ①「特定健診コース」については、国が勧める特定健診の実施となり、メタボリックシンドロームに着目した必要最低限の検査内容となっています。  
多くの被扶養者の方および任意継続被保険者の方に受診していただけるよう、2016年度（平成28年度）より無料になりました。

### 【特定健診項目】

1. 問診
2. 身長・体重・BMI
3. 血圧
4. 腹囲
5. 尿検査（蛋白・糖）
6. 生化学（中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール・GOT・GPT・ $\gamma$ -GTP・空腹時血糖またはHbA1c）

②「一般健診コース」については、メタボリックシンドローム判定をすることのほか、総合的な健康状態に着目した健診内容となっています。上記特定健診項目に、検査項目が追加されより充実した健診内容となっているため、自己負担がかかります。

### 【一般健診コース追加項目】

1. 視力
2. 胸部X線（直接または間接）撮影
3. 聴力 オージオメーター（1000/4000）
4. 尿検査（潜血、ウロビリノーゲン）
5. 血液一般（赤血球、白血球、血色素、血小板数、ヘマトクリット、赤血球色素量等）
6. 生化学（尿酸、尿素窒素、血清クレアチニン等）
7. 心電図（12誘導）
8. 便潜血（2回法）

2種類の基本検査にオプションのがん検診（自己負担がかかります）を組み合わせ、受診される方のニーズに合わせた選択ができるようになっています。

### 【受診選択例】

受診される方のニーズ	受診選択例	特徴
①健診は、必要最小限で良い方	特定健診コースのみ	・メタボリックシンドロームに着目
②基本健診は必要最小限でがん検診を受診したい方	特定健診コース+がん検診	・メタボリックシンドロームに着目 ・がん検診に着目
③がん検診以外の総合的な健診を受診したい方	一般健診コースのみ	・総合的な健康状態に着目
④基本健診もがん検診もしっかり受診したい方	一般健診コース+がん検診	・総合的な健康状態に着目 ・がん検診に着目

上記選択には、さらに「施設型」「巡回型」の選択をしていただきます。

**Q 2. ①けんぽ共同健診の施設健診と巡回健診はどのように違うのですか。**

**②また、検査内容などに違いがありますか。**

A 2. ①「施設健診」は病院や健診センター等の施設で受診していただく健康診断です。

「巡回健診」は生活に身近な公民館やホテル等を貸し切り一部の検査はレントゲンバスで受診していただく健康診断となります。

②施設健診と巡回健診との違いは2つあります。

1つ目は、検査手法の異なる検査があります。例えば、胃部X線検査であれば、施設健診では「直接撮影」ですが、巡回健診では「間接撮影」となります。また、胃部X線以外では、子宮頸部検査で異なり、施設健診では「子宮頸部細胞診（医師採取）」ですが、巡回健診では「HPV検査（自己採取）」となります。

2つ目は、自己負担額が異なります。施設健診であれば、がん検診では施設により料金が異なるため、受診する健診機関により自己負担額が異なります。一方、巡回健診では、どの会場でもがん検診を受診しても料金が定額となり、自己負担額も安く抑えられます。

**Q 3. ①4月に健康診断を受診したいのですが、どうしたらよいですか。**

**②また、任意継続被保険者の資格を当該年度の4月末日で満了のため喪失してしまうが、どうしたらよいでしょうか。**

A 3. ①4月は受診できません。受診時期を5月上旬以降に変更してください。また、健診機関についても、けんぽ共同健診で契約されている健診機関のみとなります。

②期間内での受診をお願いします。受診日当日に資格があるかで判断をしておりますので、喪失後にけんぽ共同健診を受けていただくことは出来ません。

**Q 4. ①がん検診の単独受診は出来ますか。**

**②婦人科検査（乳腺・子宮頸部）の実施がない健診機関で受診した場合はどうなるのでしょうか。**

A 4. ①がん検診（胃部検査、腹部超音波検査、便潜血検査、乳腺検査、子宮頸部検査）の単独受診は出来ません。がん検診を希望される方は必ず基本検査と一緒に受診してください。がん検診のみ受診を希望される方は、お住まいの市区町村でがん検診を受診できる場合がありますので、お住まいの市区町村へご確認ください。

②①で回答のとおり、がん検診の単独受診は出来ませんので、必ず婦人科検査を実施している健診機関を選んで基本検査と一緒に受診してください

**Q 5. ①けんぽ共同健診の契約健診機関ではかなり遠い病院しかなく、受診することが難しい場合はどうしたらよいでしょうか。**

**②また、近所のかかりつけのA病院があるのですがそこで受診出来ますか。**

A 5. ① 同一市内等に契約機関がない場合には別途特例対応が可能なケースもあります。お手数ですが直接当組合にご相談ください。また、年度末年齢が35歳と40歳以上の方は当組合の補助金を利用して人間ドックを受けていただくことも可能です。(人間ドックに契約病院はありません)

② A病院がけんぽ共同健診の契約病院でなければ、受診できません。ご案内(毎年4月下旬送付予定)の健診機関一覧表の中から選択してください。

なお、どうしてもA健診機関で受診される場合は、健保の制度を利用せずに全額ご自身の負担でご受診いただくこととなります。

**Q 6. けんぽ共同健診以外の健康診断を受診することは出来ますか。**

A 6. けんぽ共同健診の他に「人間ドック」があります。ただし、人間ドックは35歳と40歳以上の方が対象なのでけんぽ共同健診とは対象年齢が若干異なり、自己負担も大きく異なります。

一般的な健康診断を希望される方は、けんぽ共同健診を受診してください。